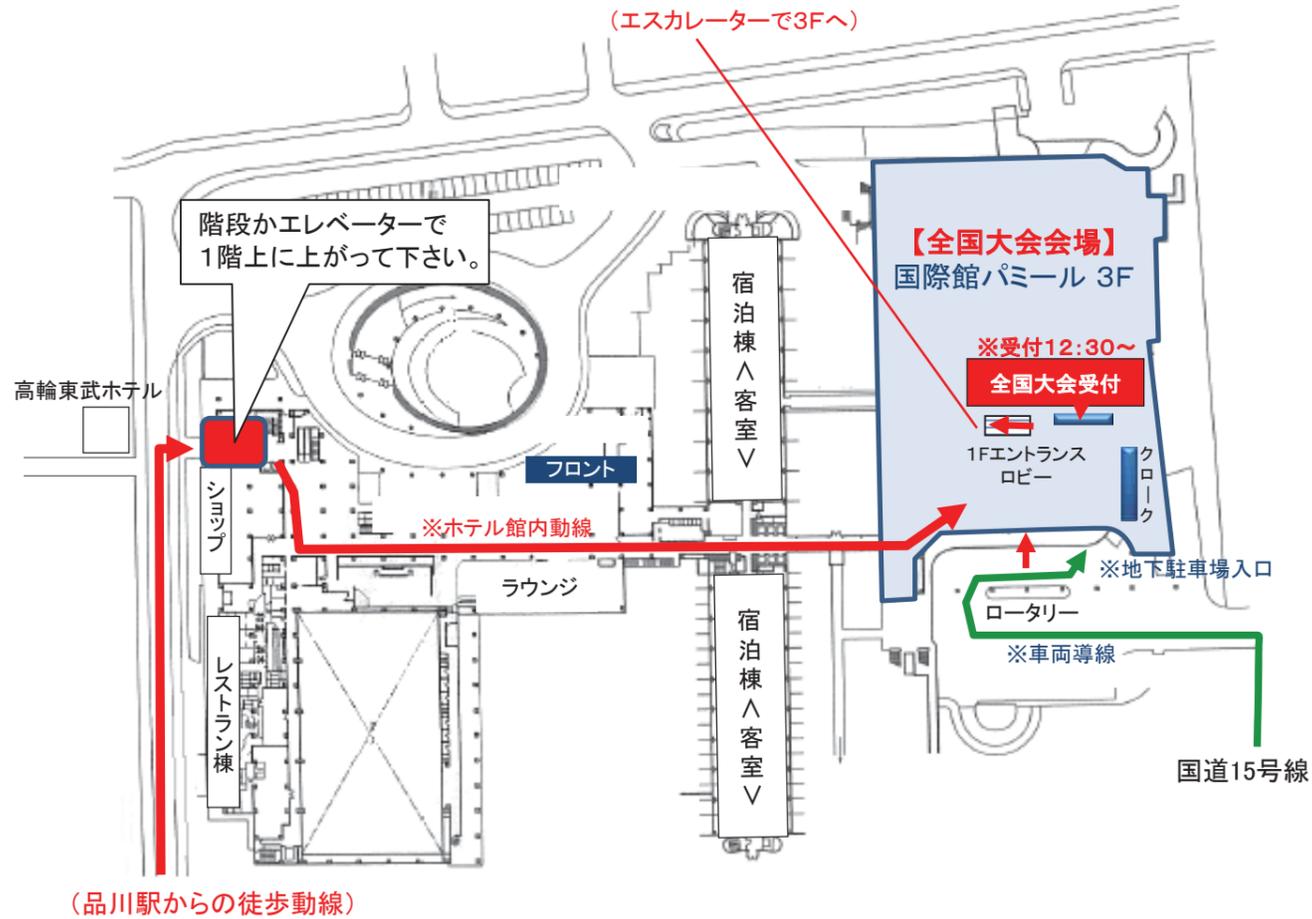


## グランドプリンスホテル新高輪 平面図



★全国大会会場は、グランドプリンスホテル新高輪内「国際館パミール」3Fとなります。

※ご来場の際は、国際館パミール1Fの全国大会受付まで必ずお越し願います。

**【受付開始時間】 12:30~(開会14:00)**

※品川駅(高輪口/西口)から「国際館パミール」まで徒歩約10分程度。

【備考】更衣室は、国際館パミール2Fにございますので必要に応じてご利用下さい。

# 出演者のご紹介

9月17日(水)  
全国大会当日



オムニチャネル時代の小売視点

これまでの常識が非常識に

講師

ともなが くみお  
朝永 久見雄氏

Analyst



株式会社Hidden Gems 代表パートナー  
(大阪大学大学院 経済学研究科 非常勤講師)

1963年 神奈川県出身、50歳。

青山学院大学卒業後、中央信託銀行(現 三井住友信託銀行)に11年間勤務し、ファンドマネージャーとして株式・債券の運用等に従事。その後セルサイド・アナリストに転向し、東京三菱証券(現 三菱UFJモルガン・スタンレー証券)、ドイツ証券、JPモルガン証券、シティグループ証券在籍中の2001年から2012年まで、日本経済新聞アナリストランキング小売り(大型店)部門で12年連続首位。

また、米インスティテューショナルインベスター誌 百貨店・GMS部門でも首位に選ばれる等、長年に亘り国内小売セクターを代表するアナリストとして高い評価を受ける。

百貨店・スーパーマーケット・コンビニエンスストアでの現場研修を経験したことから、現場と数字をつなぐ独特の分析手法に定評がある。

2013年1月に日本経済新聞アナリストランキング専門店小売りで第3位の廣田千晶氏と共同で小売業界に特化したコンサルティング会社/株式会社Hidden Gems(隠れた宝石)を設立し、代表パートナーに就任。

昨年刊行した「セブン&アイHLDGS. 9兆円企業の秘密」(世界最強オムニチャネルへの挑戦)は、小売り部門の著書としてベストセラーとなっている。

【主な著書】

- 「小売り」(日本経済新聞出版社)
- 「セブン&アイHLDGS. 9兆円企業の秘密」~世界最強オムニチャネルへの挑戦~(日本経済新聞出版社)

ピアノリサイタル

ピアニスト Pianist  
にしみず かよ  
西水 佳代



2004年から2011年まで「フリデリク・ショパン全曲演奏」コンサートシリーズを企画演奏。演奏会は毎年ショパンの誕生日(3月1日)と命日(10月17日)にポーランドワルシャワ郊外のプルシュクフ市にあるマゾフシェ古代冶金博物館のコンサートホールで開かれた。2005年からはショパンがパリで息を引き取った時刻である夜中の2時にも追悼演奏会を行った。2004年~2009年の6年間にピアノソロの全曲を、2010年と2011年には有名なピアノ協奏曲2曲だけでなく、演奏機会の少ないオーケストラ伴奏の作品や室内楽曲および歌曲を演奏することによって、8年間にわたり計16回のコンサートで230余曲のショパン全曲演奏を実現した。

2005年にはプルシュクフ市における文化活動、特に「フリデリク・ショパン全曲演奏」コンサートシリーズを評価され、プルシュクフ市長賞「ウルプス・ノーヴァ」を文化部門で受賞。2010年からは毎年春に、子供たちがクラシック音楽に親しめるようスライドショーを交えてのトークコンサートをプルシュクフ市の小学生対象に開催している。

ショパンのほかにとりわけ好きなのはロシア音楽。2003年にはムソルグスキー「展覧会の絵」とプロコフィエフ「ロメオとジュリエット」を収録したCDをリリース。チャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番は1991年に大阪センチュリー交響楽団と共演して以来の十八番。

現在「Chopin's music & stories by kayo」アルバム集制作中。第1巻「ポーランド-愛と悲哀」は2012年11月に、第2巻「24の前奏曲-イマジネーションの世界」は2013年4月に、第3巻「踊り-遊びと偲び」は2013年9月に、第4巻「音のファンタジー」は2014年5月に完成。今年9月リリースの最新版「なぜ日本人はそんなにショパンが好きなのですか?」は日本人に人気のあるショパンの名曲10曲が収録され、「Chopin's



music & stories by kayo」シリーズ作成に至るアーティストの考察やショパンの魅力に触れる入門編に当たる。今後もテーマごとにショパンの人生や作品を紹介するアルバムを作成し、全18巻でショパン全曲収録の予定。

www.kayo-nishimizu.info

西水佳代

兵庫県伊丹市生まれ。  
1987年よりポーランド在住。

演奏活動以外にもピアノ・日本語教師、ポーランド語通訳、4児の母として地域社会の文化振興交流を図る様々なコンサートやイベントの企画を積極的に手がけている。

Tokyo City Philharmonic Orchestra  
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

1975年、自主運営のオーケストラとして設立。現在、音楽監督に宮本文昭、桂冠名誉指揮者に飯守泰次郎を擁し、年間100回を超える公演は、定期演奏会を柱に、オペラ、バレエ公演やテレビ出演、CD録音、音楽鑑賞教室まで多岐にわたる。

1997年、飯守泰次郎が常任指揮者に就任。2000年から展開している「東京シティ・フィル オーケストラ・オペラシリーズ」では、「ニーベルングの指環」全4作をはじめとするワーグナー作品を上演。高水準の演奏が高い評価を得、2005年「ローエングリン」で第2回三菱信託音楽奨励賞を受賞した。2002年、フランス音楽に造詣の深い矢崎彦太郎が首席客演指揮者に就任。フランス音楽の世界を幅広く紹介する、「フランス音楽の彩と翳」と題する画期的なシリーズを展開すると共に、海外公演に積極的に取り組み、音楽を通じての各国相互交流事業の一翼を担っている。また、地域コミュニティでの活動も積極的に展開している。1994年から東京都江東区と芸術提携を結び、2005年からはティアラこうとうで、「ティアラこうとう定期演奏会」シリーズを開催している。その他にも公開リハーサル、ジュニアオーケストラ、ワークショップなど、地域に根ざした音楽文化の振興を目的として幅広い活動を行っている。2012年4月、音楽監督に宮本文昭が就任。2014年度は“発!”がキャッチフレーズ。これからの活躍が最も期待されているオーケストラである。



©堀田正矩

指揮者

い だ かつひろ  
井田 勝大

鳥取県生まれ。東京学芸大学音楽科卒業、同大学院修了。2003年から来日オペラ団体の公演に製作助手として携わり、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、東京のオペラの森などで小澤征爾、ズービン・メータのアシスタントを務める。

同年11月、Kバレエ・カンパニー『白鳥の湖』公演においてデビューする。それ以降、Kバレエの多くの公演を指揮する。2009年4月、CD「熊川哲也のくるみ割り人形」をリリース。国内のバレエ団とは、Kバレエカンパニー、東京バレエ団、新国立劇場バレエ団、東京小牧バレエ団等と共演している。オーケストラでは東京フィルハーモニー交響楽団や大阪センチュリー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団などと共演。トランペットを田宮堅二、田中昭、山城宏樹に、指揮法を山本訓久、高階正光に師事。

現在、シアター オーケストラ トーキョー指揮者。

Conductor

※出演者は変更となる場合がございます。



©Ayumu Gombi

Tokyo City Ballet  
東京シティ・バレエ団

1968年、日本バレエ界初の合議制バレエ団として、有馬五郎、石田種生、内田道生、橋本洋、野口辰雄の5名が発起人となり設立。以来古典バレエと創作バレエを両輪のごとく上演し、これまで「白鳥の湖」「ジゼル」等の古典バレエの名作のほか、「第九交響曲」「カルメン」などのオリジナルバレエ等、発表した作品は110を超える。

現在までに、韓国・香港・台北・中国等の海外公演、自主公演、文化庁、全国公立文化施設協会、全国子ども劇場、江東区等の学校公演のほか、オペラ公演の助演など、1,500ステージにのぼる出演活動を続けている。

1994年より日本でバレエとして初めて自治体（東京都江東区）と芸術提携を結び、ティアラこうとう（江東公会堂）において、年間4演目を上演するほか、区内外学校等へのアウトリーチや、地域の商店との協働による「まち・くるみフェスティバル」等の活動により人々に愛されるバレエ団として成長している。創立以来の伝統として、新しい表現活動にも自由にチャレンジしており、「ティアラdance one forty plus」ではコンテンポラリーダンスから民族舞踊までを踊り、2011年には若手作家の育成と新たな観客との交流を目的とした「シティ・バレエ・サロン」シリーズを開始した。

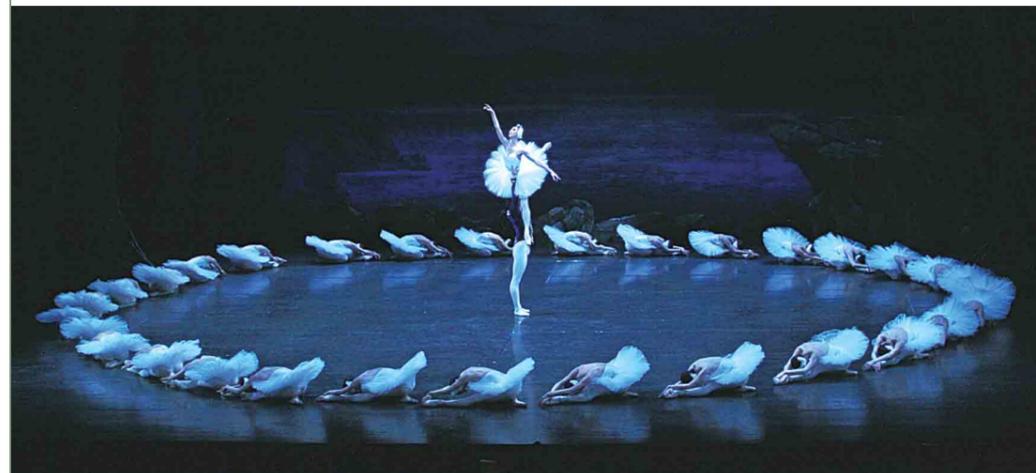
2009年5月、一般財団設立。

理事長／安達悦子

理事／金井利久 中島伸欣 野口辰雄

評議員／石井清子 橋本洋 渡邊洋子 伊沢壮宜 青田しげる

●白鳥の湖(第2幕)より「四羽の白鳥」  
●白鳥の湖(第3幕)より「黒鳥のグラン・パ・ド・ドウ」



キャスト「白鳥の湖」より

## 黒鳥のグラン・パ・ド・ドゥ

## ●オディール

さっさ はるか  
佐々 晴香

杏バレエスタジオにてバレエを始め、日本ジュニアバレエ、AMスチューデント、Geiger Classic Ballet Academy、Michigan Classic Ballet Company、東京シティ・バレエ団付属バレエ学校、Kei'sバレエにて学ぶ。2010年、奨学金を受けてSchool of American Ballet Summer Programに参加。2012年、Houston Ballet's Ben Stevenson Academyに一年間留学し、同団公演「くるみ割り人形」雪の精、「 Coppélia」友人等を踊る。帰国後、東京シティ・バレエ団入団。東京シティ・バレエ団公演「ボレロ」「くるみ割り人形」「白鳥の湖」「ベートーヴェン交響曲第7番」に出演し、2014年6月「白鳥の湖」にて主演デビュー。

Odile



## ●ジークフリード王子

キム・セジョン(Kim Se-Jong)



韓国カンウォン国立大学バレエ学部舞踊学科卒業。2002年、韓国バレエ協会男子クラシックバレエ部門にて大賞受賞。2005年、韓国ユニバーサル・バレエ団入団。ドゥミソリストとして多くの作品に出演。在団中に2006年韓国舞踊協会新人舞踊コンクールバレエ部門男子第1位受賞。2007年、韓国舞踊協会新人舞踊コンクールバレエ部門男子特賞受賞。2009年、韓国バレエ協会新人賞・バレエ部門銀賞受賞。2010年に同団を退団し、2011年、東京シティ・バレエ団入団。2012年「ロミオとジュリエット」にて主演デビュー。2013年「ジゼル」、ウヴェ・ショルツ振付「ベートーヴェン交響曲第7番」(日本初演)、2014年6月「白鳥の湖」に主演。

Siegfried



## 四羽の白鳥



中森 理恵



松本 佳織



飯塚 絵莉



石井 杏奈

## 序曲出演者

扇 春佳  
宇野澤 寛子  
宮崎 真衣  
河野 麻子  
中村 緋女  
八隅 莉子  
岡 陽子  
小林 あおい

※出演者は変更となる場合がございます。

 婦人の集い・  
親睦ゴルフ大会

9月16日(火)・18日(木)

大会前日・大会後日

